（様式第３号）

企業・団体名（　伊藤製菓有限会社　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.9.5変更】

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営陣が積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の明確化)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを防止する旨を従業員の行動規範に明記済 ・研修の実施、相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の内容を経営者を含め共有している ・上席者による労働時間管理の徹底、多様な働き方に対して柔軟に対応している								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・現在、外国人労働者の雇用はないが、今後、雇用した際には、適切な処遇や労働環境の整備を行っていく				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・各部署の責任者が参加する月例会議において、労働安全衛生委員を含め月ごとの報告や話し合いを実施、現場作業者と協議内容の共有を図り、事故防止に取り組んでいる。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	【予定】・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するため社内掲示を更新する ・ストレスチェックを実施し集団分析をフィードバックする ・メンタルヘルスマネジメント検定Ⅱ種取得者の配置			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・R5.11.20信濃毎日新聞「知りたい信州の会社」で子育て中の女性社員の活躍状況を発信 ・【予定】障がい者雇用に向けた工場見学の開催					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・【予定】階級別研修を実施している（主任研修、管理監督者研修　他） ・QC検定他自己啓発にかかる行動を支援				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・【予定】同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う ・女性パート社員の正規化を推進					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】協会けんぽ「健康企業宣言」を行う			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量など現状を把握し、記録台帳を整備している ・マニフェスト回収管理を確実に行っている											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・【予定】製造量に応じた排出であったか分析を行う							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・温室効果ガス排出量を把握し、作業現場でのチェックポイントを集約する							7.2 7.3				12.4	13.3					
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・有害化学物質を把握し、使用管理台帳によって厳格使用している			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した資材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性の保全に配慮している ・【予定】梱包資材の最小化、エラーによる排出の削減を推進する						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・【予定】バイオマス資源の利用を最優先に資材の切り替えを行う ・廃棄段ボールの再資源化を実施している											12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】水利用状況を把握し、製造量との関係を分析していく						6.4 6.6											
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】エコアクション21を取得　R6年度中			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】HPで環境情報を公開し、環境報告書を発行している												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場への太陽光パネルの設置と利用に努めている							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・CSR基本方針として第一にコンプライアンスを掲げ汚職・贈収賄禁止等社会規範への意識醸成を図っている																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・【予定】特許、商標等知的財産権の取得・管理する								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・【予定】「個人情報に対する基本方針」を定めて体制を整備している ・社内研修を行い「お客様情報」管理ルールを周知徹底している																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	非該当																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先とのコミュニケーションを重視し、労働環境等に関する点検項目の共有を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28			【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	・「パートナーシップ構築宣言」R5.11.27　公表			3					8	9	10							17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・食品安全マネジメント規格JFS-Bを取得し適切に運用している			3.9									12.4					
30	製品・サービス		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・JFS-Bを取得し適切に運用している。									9								
31	製品・サービス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
32	製品・サービス		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】加齢による慢性疾患予防効果のある原料（くるみ等）使用をテーマに新商品を検討 ・プラスチック資材削減の検討	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域との対話・地元行事などに参画し、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
34	地域貢献・社会貢献		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の防災活動に参画している ・衞木中学校へSDGs教育に関する寄付（20万円R5.11.29実施） ・AEDを設置し一般にも利用可能としている				4							11			14	15		17
35	地域貢献・社会貢献		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】可能な限り地元資材（原料）を活用する								8	9		11	12	13				
36	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している								8	9								17
37	組織体制		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・採用時研修や全体研修の際、法令遵守の重要性を全社員に向けて発信している ・階層別研修において法令遵守を再確認している																16	
38	組織体制		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者（担当役員）、CSR管理者を任命している																16	
39	組織体制		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・環境や災害に関わる事案発生に対応できる緊急連絡網、関連会社連絡網を整備している。																16	17
40	組織体制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・HACCPに基づいた食品衛生管理の実施																16	
41	組織体制		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSR基本方針を整備し取り組んでいる																16	
42	組織体制		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画（BCP）の策定、定期的な訓練を実施する									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補（専務）が社長をフォローし経営に従事している								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	・旧工場で使用していた太陽光発電装置を新工場でも設置することで、既存設備の機能を最大限に活用し再生可能エネルギー利用と廃棄物の減量を実現							7.2				11.6	12.4	13	14.1			
「エコアクション21」認証を受ける	・省が定めた環境経営システムや環境報告に関するガイドラインに応える企業として審査項目の取り組みを推進する。			3.9			6	7					12	13	14	15		

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定